

2019年8月期 決算説明資料

2019年10月10日

株式会社 USEN-NEXT HOLDINGS
(東証第一部・9418)

代表取締役社長 CEO

宇野 康秀

Copyright © 2019 USEN-NEXT HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved.

USEN-NEXT HOLDINGS



目次

1. 2019年8月期 決算について

2. 2020年8月期 業績予想について

3. 財務状況について

4. USEN-NEXT GROUPの取り組みについて

2019年8月期 連結決算のポイント

1.

各指標とも業績予想に対して概ね計画通りに推移

売上高 1,757億円 (進捗率: 103.3%)
営業利益 82億円 (進捗率: 102.9%)

2.

**高収益事業である店舗サービス事業は安定的に推移、
安定成長事業である業務用システム事業は売上200億達成**

3.

**高成長事業であるエネルギー事業で単月黒字化を達成
20年8月期には通期黒字化の見込み**

2019年8月期 連結決算ハイライト

(単位：百万円)	2019年8月期 業績予想	2019年8月期 累計	進捗率
売上高	170,000	175,769	103.3%
営業利益	8,000	8,239	102.9%
営業利益率(%)	-	4.6%	
経常利益	6,500	6,702	103.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,000	6,069	101.1%
一株当たり当期純利益 (円)	99.90	101.05	101.1%
EBITDA	15,500	17,475	
EBITDAマージン	8.4%	9.9%	
EBITDA-CAPEX (投融資含む)	8,000	10,580	

- ・ 各指標業績予想をすべて達成
- ・ 前年同時期（9-8月）の業績比較では売上で約15%の増収
営業利益以下の指標については同水準で推移
- ・ 保有不動産処分による税効果で最終利益押上げ

※前期、変則決算およびセグメント変更したため前年同期比較については見合わせております。
※決算短信での前年同期業績は換算する月が異なります。

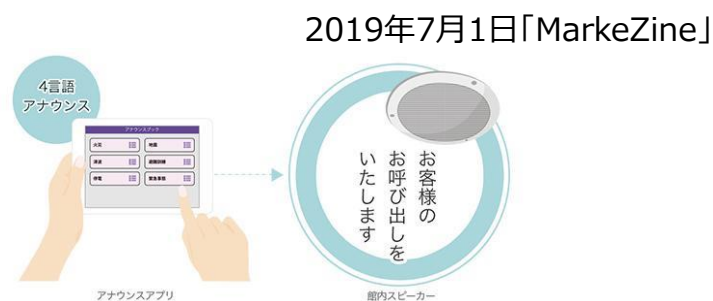
店舗サービス事業

売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)
48,699	7,703

主力の音楽配信に加え、消費税増税に伴う軽減税率対応に即したPOSレジ「Uレジ」やWi-Fi「USEN SPOT」、決済サービスの「USEN PAYGATE」等の業務店関連商材および、少額短期保険の販売を強化。店舗のIoT市場の開拓を積極的に進めており、今迄の“音楽配信のUSEN”から“店舗総合支援サービスのUSEN”へのブランドチェンジを推進。

● TOPICS

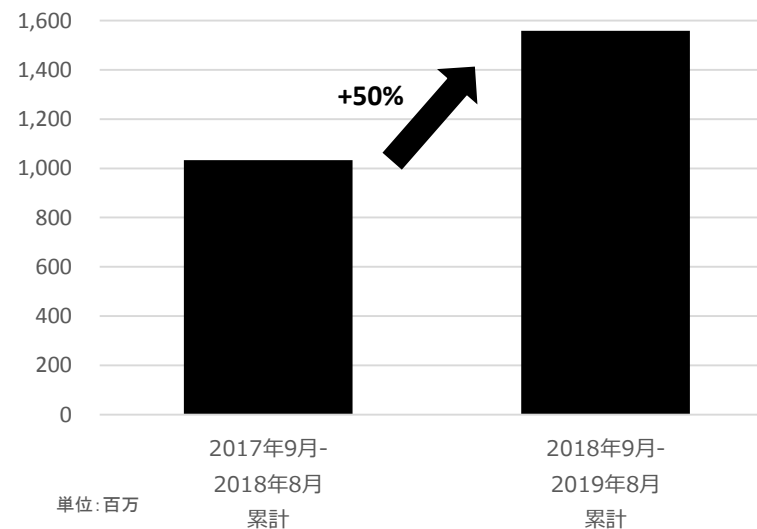
・ USEN、Qosmo、森ビルの3社がコラボ
AIが店舗BGMを選曲する実証実験を開始



<導入事例>

森ビルが運営する「THE CORE KITCHEN/SPACE」で店舗BGMをAIが抽出して流す「AI BGMサービス」の実証実験を、2019年7月1日にスタートしました。AIが抽出した楽曲を天候や時間帯などに応じ、最適な音楽を選定し、「音楽を使った、あらゆる業種の人々が交流できる空間づくり」をテーマに、およそ1年間にわたり実施します。

● 成長事業商材の売上推移 (Uレジ)



・店舗向けIoT事業商材「Uレジ」は約1.5倍の増収
※器材売上等イニシャル売上を含まないランニング売上のみ

通信事業

売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)
40,027	2,643

ブロードバンド回線の販売代理および自社コラボ光回線サービス「USEN光」は、小規模事業者向けを中心とした新規獲得活動が引き続き堅調に推移。また、オフィスのICT環境構築および働き方改革を支援するネットワーク関連サービスやクラウドサービスの販売も強化。

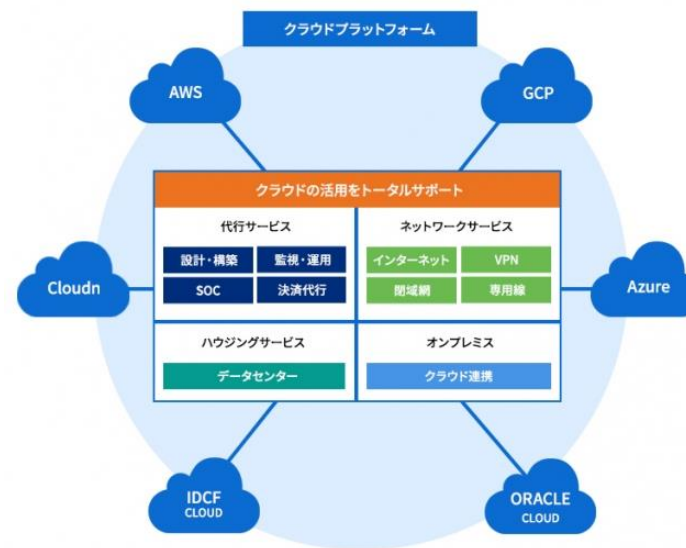
● TOPICS

・ Amazon Web Services(AWS)等のクラウドプラットフォームの利用を支援するトータルコンサルティングサービスを提供開始

2019年7月18日「PR TIMES」

<サービス提供開始>

AWS、Microsoft Azure、Google Cloud Platform (GCP) などのクラウド利用を支援するトータルコンサルティングサービスを開始しました。基幹システムや業務システムまでもクラウド上で構築することを検討する企業が増えており、システム等の構築支援、運用・保守をトータルでサポートするコンサルティングサービスを提供するに至りました。



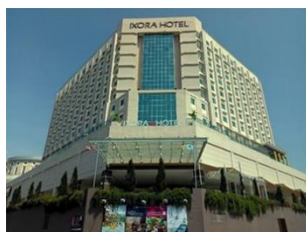
業務用システム事業

売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)
20,434	3,512

ホテル市場では、訪日外国人への対応や人手不足を補完するべく、引き続きホテル管理システム、自動精算機等の導入ニーズが高いことから、新商品の市場投入や提案型営業を強化。新たに海外でも自動精算機の導入開始。また、病院向けに新機能搭載のターミナルKIOSKを提供開始するなどサービスを拡大。

● TOPICS

・アルメックスのホテルチェックインシステム、マレーシアに初進出（再掲）



<サービス導入>

アルメックスのマレーシア法人ALMEX System Technology Asia は、5月4日にマレーシアのパナン州にあるIXORAホテル様に自動チェックイン機を納入しました。チェックイン時の受付処理やルームカード発行だけでなく、チェックアウト業務やクレジットカードによる精算も可能で、チェックイン・チェックアウトをスムーズかつストレスなく行うことができます。

・次世代型医療費自動精算機『Sma-pa TERMINAL-Z』をリリース

2019年5月21日「PR TIMES」

<サービス導入>

病院向け自動精算機のテクノロジーと外来周りの知見を集大成した次世代型自動精算機『Sma-pa TERMINAL-Z』を開発しました。従来の受付や保険証確認機能に加え顔認証や面会証発行機能や現金によるお支払いの他、様々なキャッシュレス機能が実装されています。



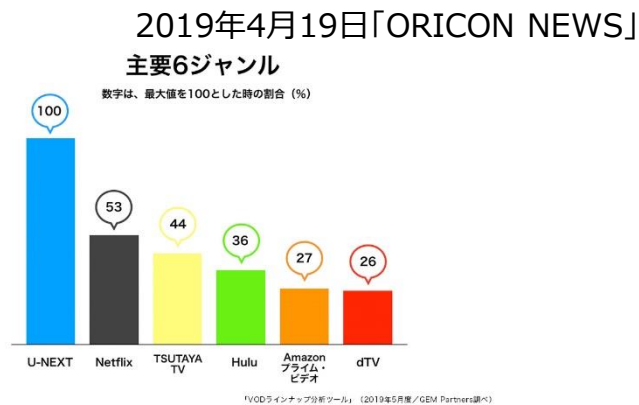
コンテンツ配信事業

売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)
33,667	431

市場が活性化する中、引き続きユーザーエクスペリエンスの改良、マーケットの開拓を進め順調に契約者数を伸長。また、対応デバイスの強化を進めるとともに、独占配信作品や継続したMリーグ参戦等でコンテンツの拡充、認知度拡大を推進。

● TOPICS

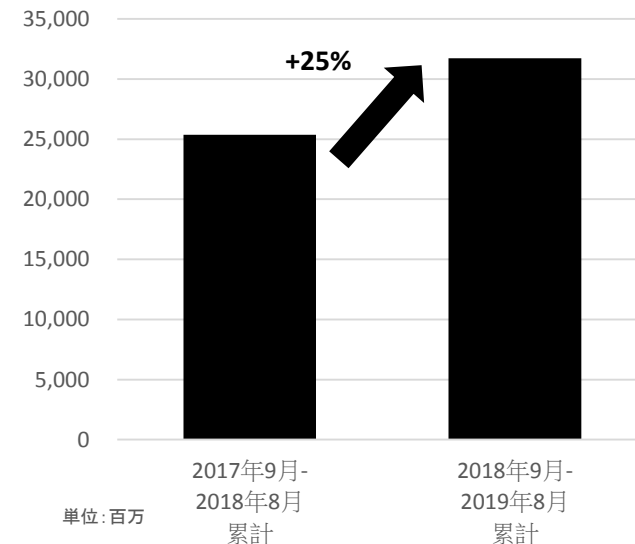
・動画配信サービス・U-NEXTが15ヶ月連続「見放題作品数No.1」を獲得



<市場調査>

GEM Partnersの2019年5月度の集計において、主要動画配信サービスのなかで「見放題作品数No.1」を獲得いたしました。また同時に、2019年5月度を含む過去15ヶ月間、常に見放題作品数がNo.1であったことが判明いたしました。

● 「U-NEXT」売上推移



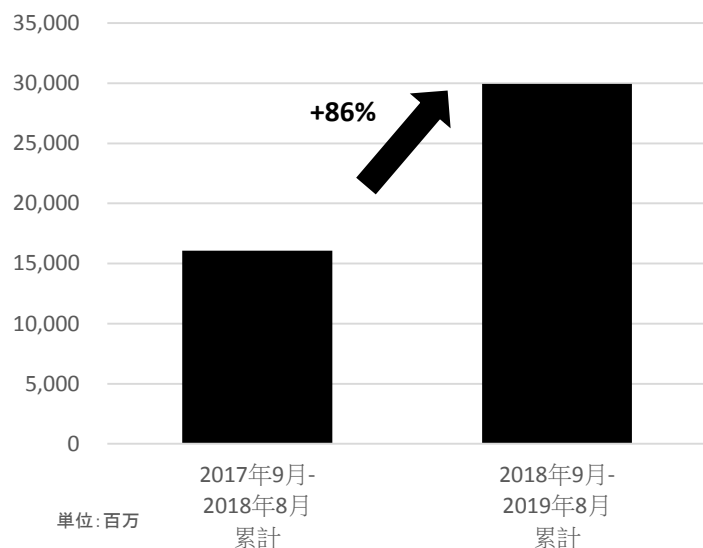
・コンテンツ配信事業商材「U-NEXT」は約1.3倍の増収

エネルギー事業

売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)
30,022	▲368

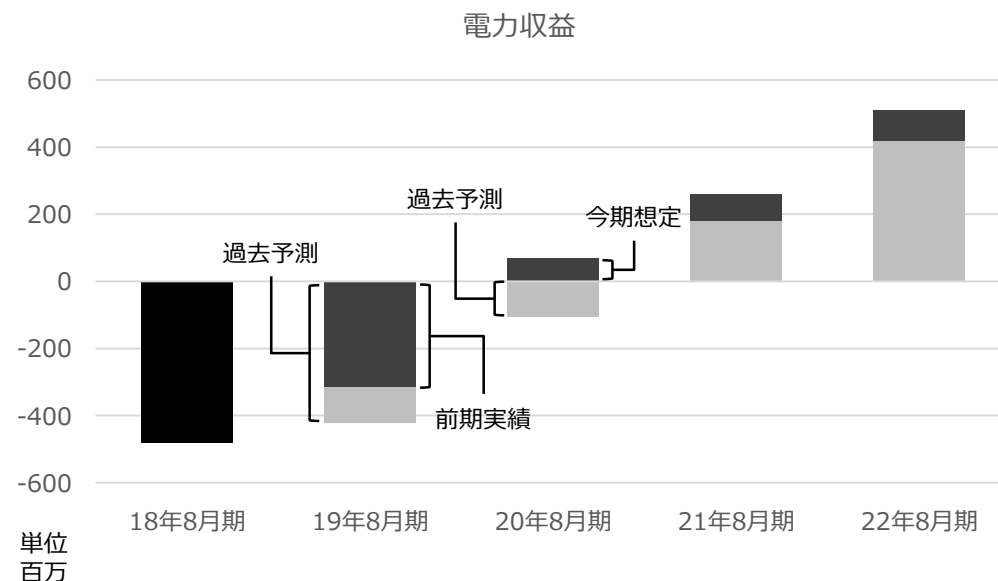
業務店の店舗や建物並びに商業施設向けに高圧および低圧電力の「USENでんき」を販売強化。新たに都市ガスである「USEN GAS」の販売を開始し、エネルギー事業への取組みを更に加速。他商材販売のきっかけとなるフック商材で、当社の重要商材として位置づけ販売を強化。

●「USENでんき」売上推移



・「USENでんき」は約1.9倍の売上成長

●電力収益黒字早期化（1年前倒し）



メディア配信事業

売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)
5,256	355

飲食店向け集客支援サービス「ヒトサラ」では現在、オンライン即時予約に対応しており予約メディアとして予約利用者を拡大。インバウンド向けグルメサイト「SAVOR JAPAN」では様々な国のメディアと連携し積極的なユーザー拡大に取り組む。

● TOPICS

・ USEN系、荷物預かりスタートアップと業務提携

2019年8月6日「日本経済新聞 電子版」

<企業間連携>

荷物一時預かりシェアリングサービス「ecbo cloak」を運営するecbo株式会社と、シェアリングサービスの普及と推進に関する業務提携契約を締結しました。訪日外国人向けグルメサイト『SAVOR JAPAN』において、本日8月6日「荷物預かりサービス「ecbo cloak」が使えるレストラン50選」を公開しました。店舗の空きスペースを活用した、新たな収益源や顧客接点を生み出すための取り組みを進めていきます。



セグメント別業績

2019年8月期累計	売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)
■店舗サービス事業	48,699	7,703
■通信事業	40,027	2,643
■業務用システム事業	20,434	3,512
■コンテンツ配信事業	33,667	431
■エネルギー事業	30,022	▲368
■メディア事業	5,256	355

各セグメントに配分していない全社費用は含まれておりません。

- ・ 高収益事業である店舗サービス事業は安定的に推移。
- ・ 安定成長事業である業務用システムは好調で売上高200億達成。
- ・ 成長事業であるエネルギー事業での単月黒字化達成。
2020年8月期において1年前倒しで通期黒字化見込み。

連結貸借対照表

(単位：百万円)	2018年8月期 期末	2019年8月期 期末	差分
(資産の部)			
流動資産	37,348	48,632	+11,284
現金及び預金	13,708	20,562	+6,854
受取手形及び売掛金	17,315	19,162	+1,847
たな卸資産	3,520	4,895	+1,375
その他	4,730	5,116	+386
貸倒引当金	△1,927	△1,105	+822
固定資産	88,588	93,618	+5,030
有形固定資産	19,689	20,189	+500
無形固定資産	51,574	58,197	+6,623
のれん	47,905	54,217	+6,312
その他	3,669	3,979	+310
投資その他の資産	17,324	15,231	△2,093
その他	22,102	20,010	△2,092
貸倒引当金	△4,778	△4,779	△1
資産合計	125,936	142,250	+16,314

(単位：百万円)	2018年8月期 期末	2019年8月期 期末	差分
(負債の部)			
流動負債	35,866	47,062	+11,196
支払手形及び買掛金	14,067	22,757	+8,690
短期借入金	2,500	2,500	-
1年以内返済予定の長期借入金	4,906	4,986	+80
その他の引当金	836	962	+126
その他	13,556	15,856	+2,300
固定負債	75,065	74,017	△1,048
長期借入金	71,534	65,938	△5,596
退職給付に係る負債	2,699	3,230	+531
その他	830	4,848	+4,018
負債合計	110,931	121,080	+10,149
(純資産の部)			
株主資本	14,819	20,890	+6,071
資本金	94	94	-
資本剰余金	11,089	11,090	+1
利益剰余金	3,635	9,704	+6,069
その他包括利益累計額	139	234	+95
その他有価証券評価差額金	152	141	△11
退職給付に係る調整累計額	△13	93	+106
非支配株主持分	45	45	-
純資産合計	15,004	21,170	+6,166
負債純資産合計	125,936	142,250	+16,314

- ・ スケジュール通り有利子負債を圧縮
- ・ 自己資本比率は14.9%となり前期末より3.0%改善
- ・ 現行シンジケートローンリファイナンス完了 (19年8月23日開示、19年9月実施)

目次

1. 2019年8月期 決算について

2. **2020年8月期 業績予想について**

3. 財務状況について

4. USEN-NEXT GROUPの取り組みについて

2020年8月期業績予想 (中期経営計画1年目)

(単位：百万円)	2019年8月期 実績	2020年8月期 業績予想
売上高	175,769	197,000
営業利益	8,239	9,000
営業利益率(%)	4.6%	4.5%
経常利益	6,702	7,700
親会社株主に帰属する当期純利益	6,069	3,300
1株当たり連結当期純利益 (円)	101.05	54.94
EBITDA	17,475	18,000
EBITDAマージン	9.9%	9.1%
EBITDA-CAPEX (投融資含む)	10,580	7,700

前期比増収増益見込。
 エネルギー事業において中期経営計画対比1年前倒しで黒字化を見込む。
 店舗サービス事業、通信事業、コンテンツ配信事業も順調に業績積上げ。

目次

1. 2019年8月期 決算について

2. 2020年8月期 業績予想について

3. 財務状況について

4. USEN-NEXT GROUPの取り組みについて

財務バランス

安定的な当期純利益計上と有利子負債の圧縮により自己資本比率を改善。

	2018年 8月期末 (※)	2019年 8月期末
ROE	23.3%	33.6%
売上高当期純利益率	2.9%	3.5%
総資産回転率	0.9	1.3
財務レバレッジ	9.3	7.4
自己資本比率	11.9%	14.9%
レバレッジレシオ	6.2	4.2
D/Eレシオ	5.3	3.5

持続可能な成長投資と継続的な株主還元

創出した営業キャッシュフローを源泉とすることで、持続可能な成長と継続的な株主還元を目指す。

(単位：億円)	2018年 8月期末 (※)	2019年 8月期末
営業キャッシュフロー	100	195

- ・成長投資
成長事業への積極投資を行い競争優位性を強化
- ・有利子負債圧縮
有利子負債の圧縮により自己資本比率を改善
- ・株主還元目標
配当性向は10%から30%を予定し、安定配当を目指す

(※) 2018年8月期は8ヶ月変則決算ベース

目次

1. 2019年8月期 決算について

2. 2020年8月期 業績予想について

3. 財務状況について

4. **USEN-NEXT GROUPの取り組みについて**

USEN-NEXT HOLDINGS 中期経営計画を発表 (再掲)

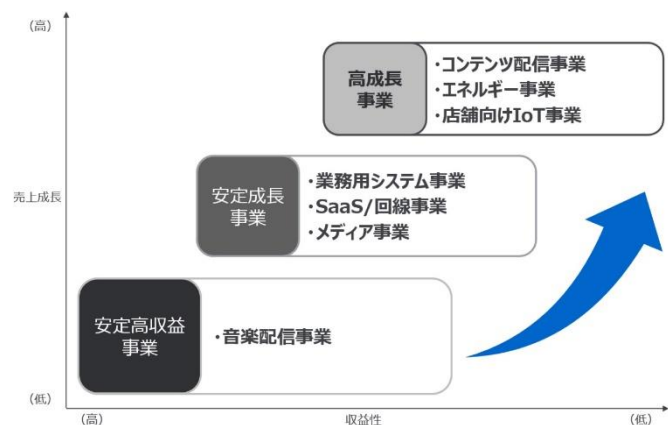


USEN-NEXT
HOLDINGS

・2019年6月6日に弊社中期経営計画を発表しました。

URL : <https://usen-next.co.jp/ir/material.html>

必要とされる次へ。
NEXT for 2024



Work
Style
Innovation

かっこよく働こう。
Be innovative for results!

USEN-NEXT
GROUP

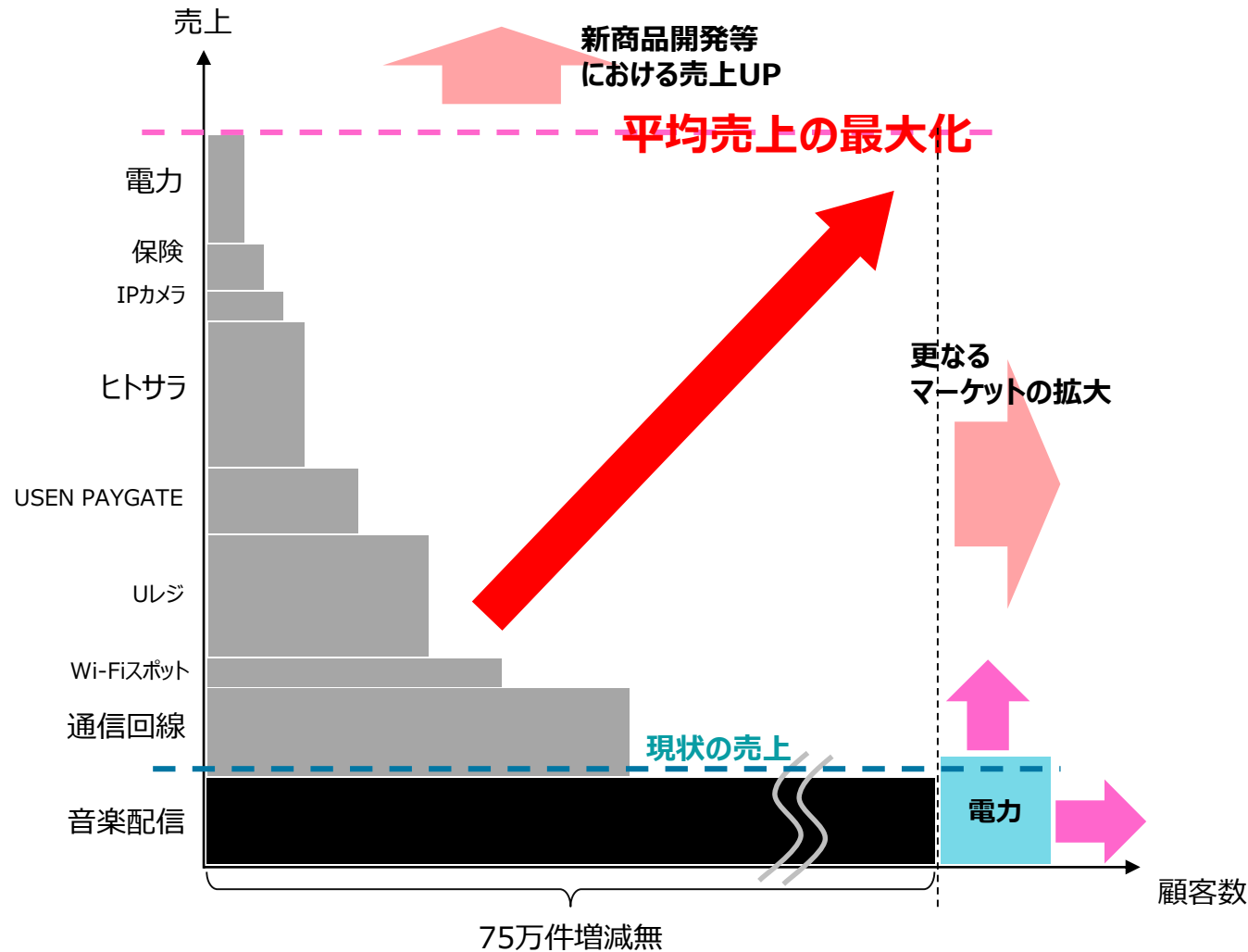


必要とされる次へ。

市場成長に伴うグループの取り組みについて (再掲)



グループ顧客資産の有効活用

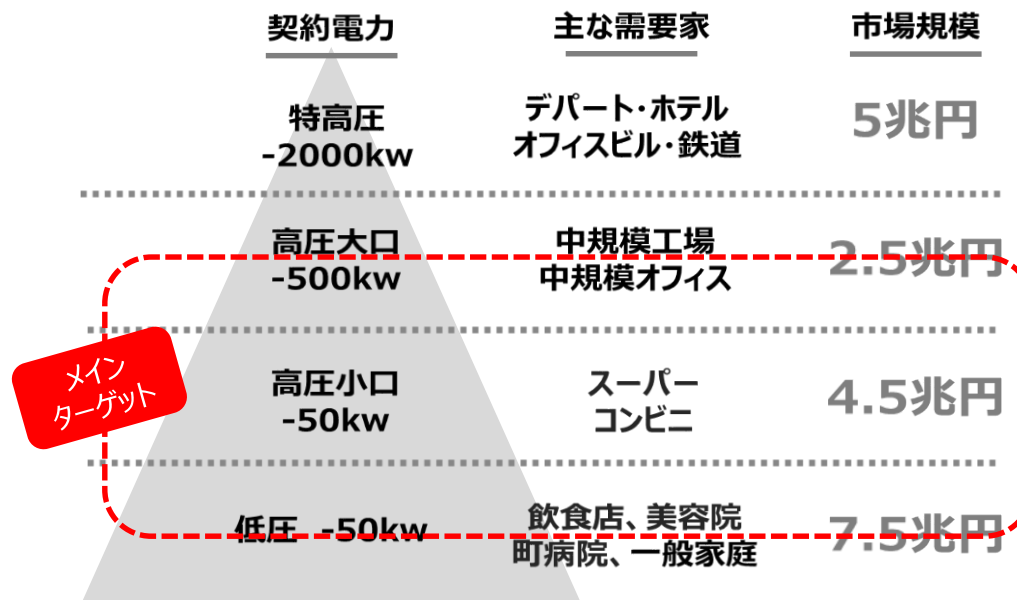
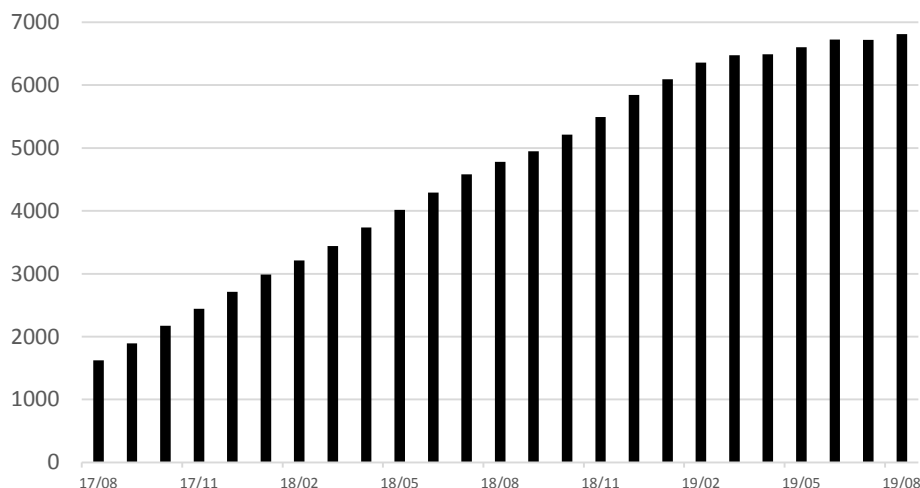


飲食、小売、クリニック、理美容、その他の音楽配信不要マーケットに対して「USENでんき」をフックに顧客数の拡大を図る。

Uレジ等のICT/IoT商材の販売を強化し、ARPUの向上を図る。

電力事業の早期収益化

■「USENでんき」契約者数推移（高圧）

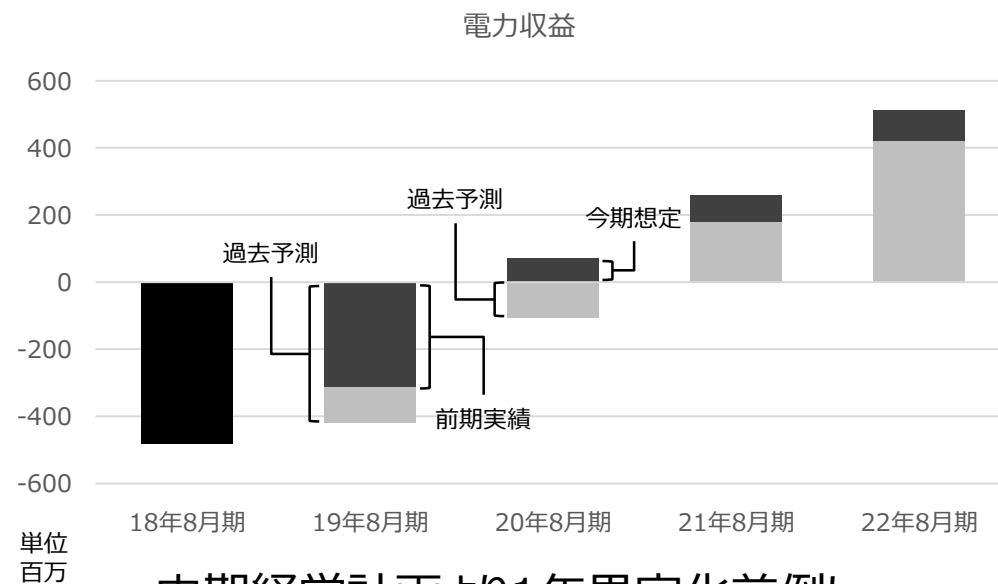


2016年9月の立上げより「USENでんき」は順調に契約者数を伸長。

2018年10月より電力小売りに加え、ガスの小売りを開始。(※)

「USENでんき」を、グループ商材のクロスセルに向けたフック商材として位置付け。

(※)取り扱う商材は東京電力エナジーパートナーが提供する都市ガスとなります。

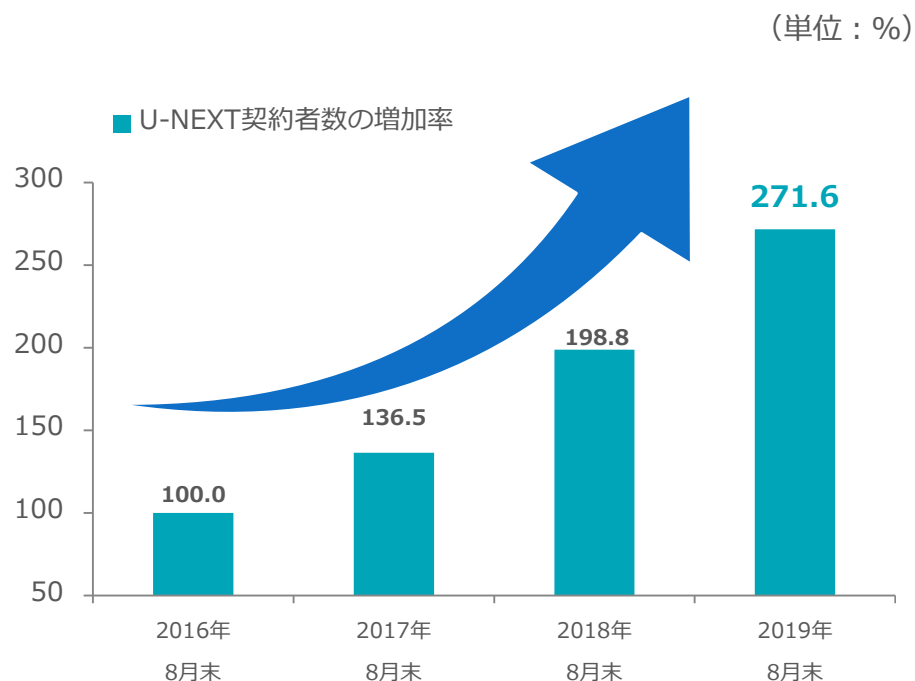


中期経営計画より1年黒字化前倒し

映像配信事業の会員数動向

映像配信サービス「U-NEXT」では会員獲得が順調に推移

「U-NEXT」契約者数の増加率



※2016年5月末を100%として算出しております。

「U-NEXT」契約者数 3年間で**2.7**倍
 昨年同期比でも約**37**%増

定額配信サービスシェア

1位	dTV	13.7%
2位	Hulu	11.6%
3位	U-NEXT	11.1%
4位	DAZN	10.6%
5位	Amazonプライム・ビデオ	9.8%
6位	Netflix	8.9%
7位	Dアニメストア	5.5%
8位	ビデオパス	4.7%
9位	TSUTAYA TV	2.7%
10位	アニメ放題	2.4%

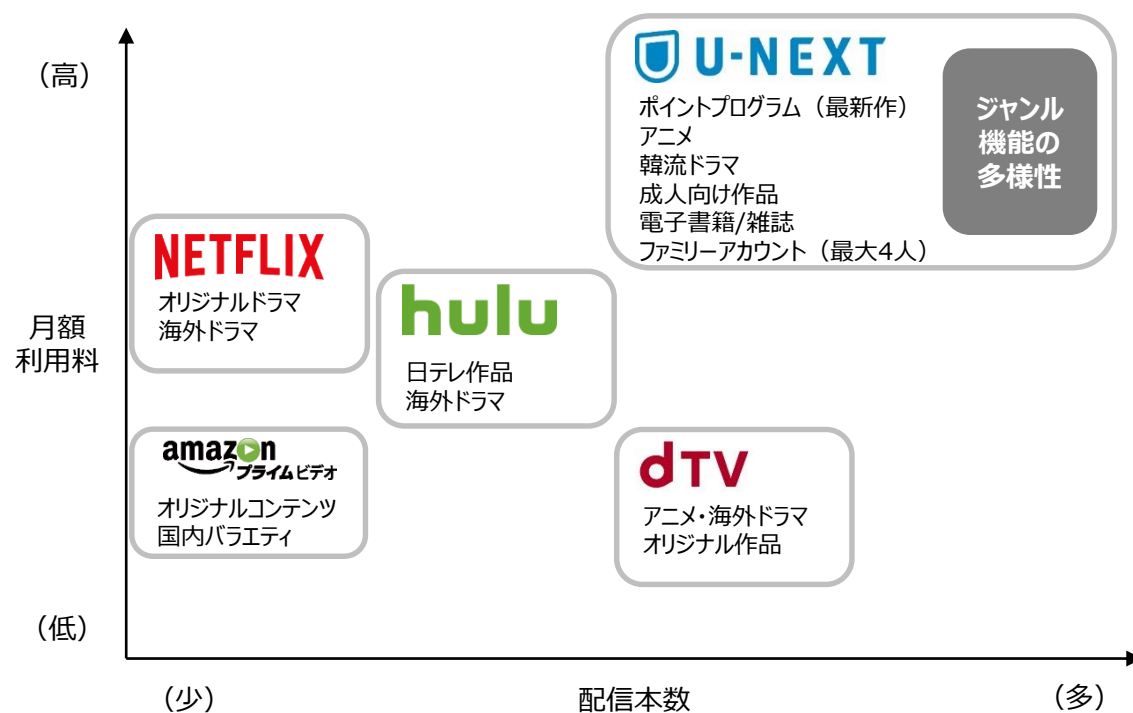
動画配信サービス市場は前年比推計で19.5%増加、2023年には3,000億円規模まで拡大する可能性。(※)
 市場拡大の中、U-NEXTは国内シェア**TOP3**位を維持

(※) GEM Partners調べ
 表については下記よりUSEN-NEXT HOLDING作成
 URL: <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000027.000013190.html>

映像配信事業の業界動向

動画配信サービス市場は前年比推計で19.5%増加

動画配信市場における「U-NEXT」のポジション



市場全体が拡大しており引き続き加入が伸長
複数サービス利用者の数も増加
視聴ジャンルによってサービスを使い分ける傾向が強まる

将来見通しに対する注記事項

本資料に記載されている意見や予測などは、資料作成時点での当社の判断であり、リスクや不確実性を含んでいるため、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではありません。